

高校生、大学講義受け「成長」

八学光星と 高大連携事業スタート

八戸

八戸市の八戸学院光星高校と八戸学院大学・同大学短期大学部との高大連携事



八学大生と一緒に講義を受ける八学光星の生徒たち

業の開講式が17日、同大学で行われた。希望する高校生たちは7月まで計15回の講義を大学生と一緒に受講し、試験などを経て単位の

修得を目指す。初年度の今期は、同校2年の男子3人、女子15人が受講する。

対象となるのは社会学や国際関係論、日本国憲法など12科目。同高校卒業に必要な単位として扱われるほか、同大学・同大学短大部の単位としても認められ、高校在学中に前倒して単位を修得できる。

開講式では、同高校や同大学・同大学短大部を運営する学校法人光星学院の法官新一理事長が「向学心に燃える皆さんを誇らしく思う。夢や目標に向かって頑張ってほしい」と高校生たちを激励した。

同高校医療看護進学コース2年の古川楓さん(16)が「講義を受けて知識を身に付け、より大きな自分に成長したい」と意気込みを語った。

(工藤俊介)